

平成31年4月25日

平成31年度文化庁文化交流使の指名

文化庁では、平成15年度より、芸術家、文化人、研究者等、文化に携わる人々を一定期間諸外国へ派遣する「文化庁文化交流使事業」を実施しています。（別紙2参照）

この度、以下のとおり、平成31年度「文化庁文化交流使」を指名しましたので、お知らせいたします。略歴は別紙を参照ください。

平成31年度文化庁文化交流使 ※敬称略，50音順（別紙1，3参照）

- ・黒田 鈴尊（尺八奏者）
くろだ れいそん
- ・清水 利仲（両口屋菓匠 取締役顧問）
しみず としなか
- ・田村 圭吾（京料理 萬重 若主人，全国芽生会連合会 監事）
たむら けいご
- ・中村 京蔵（歌舞伎俳優）
なかむら きょうぞう
- ・三谷 純（筑波大学 教授）
みたに じゆん
- ・森 隆宏（盆栽師）
もり たかひろ

<担当>文化庁文化経済・国際課

国際文化交流室室長補佐 木南 秀隆（内線3166）

専門官 徳留 丈士（内線3110）

電話：03-5253-4111（代表）

平成31年度文化庁文化交流使

氏名	年齢	性別	プロフィール	活動国・地域(予定)	期間(予定)	主な活動内容(予定)
くろだ れいそん 黒田 鈴尊	35	男	尺八奏者	中国, イタリア, ブラジル, フランス, ドイツ, ポルトガル	約2か月 (平成31年5月下旬～平成31年7月下旬)	訪問する土地の出身や在住の作曲家たちに新作を委嘱、初演し、ソロやアンサンブルとの共演による尺八の現在進行形の魅力を発信する。また、各国の音楽大学で講義やワークショップを開催し、尺八音楽を通じて日本音楽の美学・哲学を発信する。さらに、各種フェスティバルに参加し、古典の演奏と、エフェクター/ルーバーを使用する楽曲を用いて、古典と現代の両方の尺八音楽を広く伝える。
しみず としなか 清水 利仲	69	男	両口屋菓匠 取締役顧問	スペイン, フランス, ドイツ	約1か月 (平成31年6月中旬～平成31年7月中旬)	伝統の和菓子を紹介する“和菓子を愉しむ会”としてワークショップ、講演会を開催。ワークショップでは涼菓(夏向き菓子)、葛菓子、わらび餅、水まんじゅう、練切、錦玉類など実技指導、試食を中心に行う。講演では、和菓子の歴史、文化、素材など中心に紹介する。
たむら けいご 田村 圭吾	49	男	京料理 萬重若主人, 全国芽生会連合会 監事	ニュージーランド, エルサルバドル, ハンガリー, マケドニア, レバノン, アラブ首長国連邦	約1か月半 (平成31年8月下旬～10月上旬)	各地の要望を踏まえつつ15年以上に渡り活動してきた和食の食育や過去の海外経験を踏まえた、和食のイベントや講義、デモンストレーションを実施する。特に、日本料理の考え方の基礎となる、根拠や歴史的背景、意味合いなどを紹介すると共に、世界で注目される主に出汁を中心とした「うま味」を活用し、野菜を中心に、比較的ローカロリーの調理方法である和食について、野菜ソムリエの観点を含めて魅力を伝える。
なかむら きょうぞう 中村 京蔵	63	男	歌舞伎俳優	アメリカ, キューバ, メキシコ	約1か月 (平成31年11月上旬～12月上旬)	これまでの経験から、世界共通語である歌舞伎に対する各国の関心は高いことから、歌舞伎レクチャーとデモンストレーションを通して、400年の歴史のある日本の伝統芸能歌舞伎の紹介をする。また、各地の演劇分野関係者と交流することで、歌舞伎に対する理解をより深める。
みたに じゅん 三谷 純	43	男	筑波大学 教授	中国, フィリピン, マレーシア, バングラデシュ, インド, タイ, ミャンマー, ベトナム	約2か月 (平成31年10月下旬～12月下旬)	1枚の紙を折って形を作る遊戯である「折り紙」は、古くから幅広い世代に親まれてきた我が国の文化の1つである。その一方で、近年では科学者による研究の対象ともされ、例えばコンピュータを用いた設計技法などによって、曲線での折りを含む有機的な造形も可能となっている。このような、文化的な側面と、サイエンス的な側面の両面から、過去および現在における我が国の折り紙を、講演やワークショップ、展示を通して各国に伝える。
もり たかひろ 森 隆宏	40	男	盆栽師	カナダ, アメリカ, オーストラリア, シンガポール	約2か月 (平成31年7月中旬～9月中旬)	教育機関、文化施設等において、講習会や講演会を行う。講習会では、実演を含め、初心者にわかりやすく、また、既存の愛好家の技術向上に繋がるよう努める。講演会では、盆栽を軸に、日本文化と自然の繋がり、盆栽の魅力と精神性をテーマに行う。そのほか、現地の盆栽クラブ、盆栽を生業とする方々と、今後の盆栽発展に繋がる交流を行う。

文化庁文化交流使事業（Japan Cultural Envoy）について

【目的・趣旨】

文化庁では、芸術家・文化人等を一定期間「文化交流使」に指名し、世界の人々の日本文化への理解の深化につながる活動や、諸外国の芸術家・文化人等とのネットワークの形成・強化につながる活動を展開している。

【概要】

文化交流使の活動の概要は以下のとおり。

① 概要

芸術家・文化人等を海外へ派遣し、それぞれの専門分野における実演、実技指導、講演、講義、上映、展示、共同制作、情報交換、情報発信等を行う。

※芸術家・文化人等には、複数の芸術家・文化人等で構成された1組の文化交流使とみなすことがふさわしいと文化庁が判断したものも含まれる。

② 指名期間

原則として1か月以上12か月以内（最長1年）

※1か月につき8回以上、文化交流使としての活動を行う。

③ 文化庁の負担

交通費、現地滞在費（定額の宿泊費と日当）、現地での活動経費（活動期間に応じた定額の謝金）等

【活動実績】

平成15年度から30年度までに、伝統音楽や舞台芸術、生活文化やポップカルチャーといった多様な分野で活躍する芸術家・文化人等、延べ137名と26組（団体）の文化交流使が世界86か国で活動を行っている。

※実績は、現地滞在者型（平成15年度～平成21年度）及び短期指名型（平成20年度～25年度）を含む。

【指名手続】

・文化交流使は、「文化交流使事業委員会」（※）の推薦を経て、文化庁長官によって指名される。

※「文化交流使事業委員会」は、文化交流使事業の適正・効率的な執行を担保するため、文化庁長官の下に置かれる委員会であり、関係行政機関、学識経験者等から構成される。

・候補者選定に当たっては、外務省在外公館及び国際交流基金海外事務所の協力を受け、諸外国における芸術家・文化人等のニーズ調査を行っている。

平成31年度文化庁文化交流使 略歴

(敬称略・50音順)

- くろだ 黒田 れいぞん 鈴尊 (尺八奏者) 1
- しみず 清水 としなか 利仲 (両口屋菓匠 取締役顧問) 2
- たむら 田村 けいご 圭吾 (京料理 萬重 若主人, 全国芽生会連合会 監事) 3
- なかむら 中村 きょうぞう 京蔵 (歌舞伎俳優) 4
- みたに 三谷 じゅん 純 (筑波大学 教授) 5
- もり 森 たかひろ 隆宏 (盆栽師) 6

くろだ れいそん
黒田 鈴尊 (尺八奏者)

【出生地】福島県いわき市

【生年月日】1983年8月8日

【学歴】東京藝術大学音楽学部大学院修士課程修了

幼少よりピアノを学ぶ。武満徹作曲「November Steps」を聴いた事が契機となり 20歳で尺八に転向。人間国宝・二代青木鈴慕、三代青木鈴慕各氏に師事。

NHK 邦楽オーディション合格。NHK FM"邦楽のひととき"に独奏で出演。第2回利根英法記念邦楽コンクール最優秀賞受賞。NHK・Eテレ「にっぽんの芸能」出演。国際尺八コンクール 2018 in ロンドン優勝。



撮影：Ayane Shindo

アンサンブル室町（第13回佐治敬三賞受賞）、邦楽四重奏団（NHK FM"邦楽のひととき"出演。1stCD「野田暉行邦楽作品集」は"レコード芸術"2016年12月号にて特選盤、"音楽現代"2017年1月号にて推薦盤を獲得）メンバーとして数多くの新作を初演し続けている。

CAPCOM「大神 五重之音調」CD録音他、TV、ラジオ等に音源提供多数。

2014年、韓国・百済文化祭にて朴範薫作曲の尺八協奏曲「流」のソリストを務め、自作カデンツァを含むその演奏が好評を得て、同年公州にて再演。2015年、山本和智作曲の尺八協奏曲「Roaming liquid for shakuhachi and orchestra」を東京・神戸で世界初演。2016年にはベルギーにおける国際現代音楽祭・Ars Musica にコンチェルトのソリストとして招請され、武満徹作曲「November Steps」や、Claude Ledoux 他 の新作尺八コンチェルトを世界初演のほか、ソロコンサートが開催され、好評を博した。2019年には Rafael Nassif のコンチェルト東京初演や、Denis Levailant の新作尺八コンチェルトのフランス初演など、尺八とオーケストラによる新たな音楽体験を世界各地で開拓している。

自主企画として同世代の作曲家への委嘱作品を集めたコンサートや、完全無伴奏の独演会を毎年各地で開催するなど、"尺八の今と無限の可能性"を追求している。

鈴慕会、(公社)日本三曲協会、足立区三曲協会、文京区三曲協会 各会員。

【ウェブ】

<https://www.reisonkuroda.com/>

【出生地】愛知県安城市

【生年月日】1949年8月11日

【学歴】日本菓子専門学校研究科卒業

卒業後、両口屋菓匠にて和菓子職人として勤務。現在取締役顧問。2014年ものづくりマイスター認定（菓子製造）を受ける。製菓学校等での指導も積極的に行っている。

2011年から世界に向けて和菓子の啓蒙活動を始める。健康でヘルシーな和菓子「食の文化遺産」を再認識し、和菓子と共に豆の文化「小豆・大豆」を世界に広めるため、フランス、アルザス地方で小豆作りを指導し、伝統の和菓子作りを紹介している。また、フランス、パリで和菓子講習会を定期的開催している。



三河和菓子技能士会 技術顧問

和菓子研究団体名和会 副会長

フランス和菓子協会 青遊会 副会長

全国和菓子協会 選・和菓子職 審査委員

全国和菓子協会・チーム和菓子 チームリーダー

【近年の主な受賞歴】

2002 第24回全国菓子大博覧会名誉総裁賞（工芸菓子）

2008 第25回全国菓子大博覧会農林水産大臣賞（工芸菓子）

2013 第26回全国菓子大博覧会農林水産大臣賞（工芸菓子）

2016 厚生労働大臣表彰（卓越技能者）

2017 第27回全国菓子大博覧会名誉総裁賞（工芸菓子）

愛知県技能検定委員永年勤続感謝状

2018 黄綬褒章

【ウェブ】

<http://ryouguchiya.com/>

【出生地】ー

【生年月日】1970年3月16日

【学歴】大谷大学卒業

京都西陣の萬重（創業昭和12年）の長男として生まれ、幼少期より家業の手伝いをし、各地で修業後家業に従事。萬重にはカール16世・グスタヴ・スウェーデン国王が来店されたこともある。業界では「日本料理アカデミー」に設立と同時に参加。地域食育副委員長として15年以上に渡り全国の小中高大学生に指導を続け、京都市教育委員会の推進委員も務め、過去には教科書にも掲載された。創立60年以上になる若手料理人の京都料理芽生会会長を平成29年から務め、同全国連合会の副理事長を歴任、現在、同全国連合会の監事を務める。



海外での料理経験も豊富で和食の無形文化遺産への登録記念のフランス外務省晩餐会、ハワイで現地料理人などと700人のチャリティーパーティー、ミラノ万博、クアラルンプールでも腕を振るう。野菜ソムリエ京都を立ち上げ、現在顧問を務める。2018年に和食文化に関連する諸学問を体系化し、食をめぐるさまざまな課題の解決に向けた道筋を示すことを目的とする「和食文化学会」の設立総会にも参画し、和食文化学会員として和食の学術的な視点からも研究をしている。2018年、文化庁宮田亮平長官と対談をし、「文化」としての「食」について意見交換を行った。

【主な活動歴】

- 2005 日本料理アカデミーのメンバーとして「日仏料理ワークショップ」参加
- 2007 京都市教育委員会「日本料理に学ぶ食育カリキュラム推進委員会」委員に就任
- 2014 フランス外務省主催、ユネスコ和食無形文化遺産登録記念晩餐会・パリ」で料理担当者の一員として参加
- 2014 US-JAPAN COUNCIL 主催事業（ハワイ州ホノルル市開催）、Celebrating Connections: U.S.-Japan Culinary Festival にて、ジョン・ルース元駐日大使ら参加者700人への料理を担当する。
- 2015 ミラノ国際博覧会京都ウィーク関連事業（イタリア、フィレンツェ市、ミラノ市）にてメンバーの一員として料理の担当をする。
- 2017 全国料理業芽生会連合会副理事長に就任（2019年より同監事を歴任）
- 2017 クールジャパン機構関連事業（マレーシア、クアラルンプール）にてライブデモンストレーションを行う。

【ウェブ】

<http://www.kyoryori-manshige.co.jp>

【出生地】東京都板橋区
【生年月日】1955年6月30日
【学歴】法政大学第二文学部日本文学科

1972年大学卒業後、国立劇場歌舞伎俳優養成所の第6期生となる。1982年研修終了後、同年9月に四代目中村雀右衛門門下となり、中村京蔵を名乗る。1994年4月、歌舞伎座にて名題昇進。歌舞伎座や国立劇場等での国内公演のほか、欧州、米国、大洋州、東南アジア等海外での国際交流基金主催の歌舞伎レクチャーデモンストレーション公演でも活動している。2005年11月、伝統歌舞伎保存会会員に認定。現在、国立劇場歌舞伎俳優養成所講師。



【受賞歴】

2002・2008・2013・2015 国立劇場奨励賞
2007 第13回日本俳優協会賞
平成19年度第62回文化庁芸術祭舞踊部門新人賞

【主な公演】

1993.7 郡司正勝作・演出「紗羅女急々の段」の紗羅女姫 新宿タイニーアリス
2004.4 浜名湖花博・庭文化創造館「藤娘」
2004.8 国際交流基金平成16年度日本文化紹介派遣事業（ニュージーランド、オーストラリア）にて
歌舞伎の歴史と女形の解説、歌舞伎舞踊「鷺娘」
2005.3 国際交流基金平成16年度日本文化紹介派遣事業 欧州歌舞伎舞踊レクチャーデモンストレーション
公演「豊後道成寺」創作「あなめー小町変相ー」
2006.10 中村京蔵創作の夕べ 中島敦作「山月記」を舞台化
2006.11 こども歌舞伎教室「藤娘」歌舞伎座
2007.10 中村京蔵舞踊の夕べ「海人二題」青山鍔仙会舞台(芸術祭受賞対象)
2008.2 平成19年度日本文化紹介派遣事業（インドネシア・フィリピン）解説と「鷺娘」「石橋」
2008.10 中村京蔵舞踊の夕べ「月の影」「あなめー小町変相ー」青山鍔仙会舞台
2009.8 中村京蔵舞踊の夕べ「鐘の岬」「古道成寺」青山鍔仙会舞台
2009.10 歌舞伎レクチャーデモンストレーション公演（台湾・米国）解説と「鷺娘」「石橋」
2010.10 メキシコ・中米歌舞伎舞踊公演「日本メキシコ交流400周年」記念事業「鷺娘」「石橋」
2012.8～9 日本・イスラエル外交関係樹立60周年記念事業 解説と「鷺娘」「石橋」
2015.1 中村京蔵舞踊の夕べ「豊後道成寺」「二人椀久」日本橋劇場
2017.6.10.11 蜷川幸雄一周忌追悼公演『NINAGAWA・マクベス』魔女（香港・英国・新嘉坡）
2017.8 中村京蔵舞踊の夕べ「吉野山」「あなめ」「風流浮世床」渋谷伝承ホール

【ウェブ】<http://www.kyozo.jp/>

【出生地】静岡県富士市
【生年月日】1975年6月28日
【学歴】東京大学大学院工学系研究科博士課程

2004年東京大学大学院博士課程修了、工学博士。2005年に理化学研究所研究員、2006年筑波大学システム情報工学研究科講師を経て、2015年より現職。2006年～2009年に科学技術振興機構さきがけ研究員として折り紙の研究に従事。コンピュータを用いた折り紙の設計技法などに関する研究を行っている。子どものころから紙工作とコンピュータが大好きで、それがそのまま現在の研究テーマにつながっている。日本折紙学会評議員も務めている。著書に「立体折り紙アート～数理がおりなす美しさの秘密」(日本評論社)などがある。



【受賞歴】

2007 日本図学会 研究論文賞および 学会賞受賞
CGAC2007 国際CG論文大賞 優秀論文賞受賞
2008 デジタルコンテンツシンポジウム船井賞受賞
2009 第4回日本図学会論文賞受賞
2011 マイクロソフトリサーチ日本情報学研究賞 受賞
2012 筑波大学 2012 BEST FACULTY MEMBER 表彰

【直近の主な活動】

2014 イスラエル折り紙コンベンションでの招待ワークショップ
6OSME: The 6th International Meeting on Origami in Science,
Mathematics and Education の Organizing Committee Vice Chair 担当
韓国 KAIST での招待講演
2015 「めざましテレビ」での研究内容紹介
2016 映画「デスノート Light up the NEW world」に登場する折り紙作品を提供
映画「シン・ゴジラ」に折り紙の展開図を提供
内閣府 科学技術イノベーション会議 上席科学技術政策フェロー(非常勤) 就任
「立体折り紙アート」の英訳版「3D Origami Art」を CRC Press より出版
2017 Asian Digital Modeling Contest 2017 審査委員長を担当
World Government Summit 2017(世界政府サミット 2017、ドバイ)で折り紙の実演

【ウェブ】

<http://mitani.cs.tsukuba.ac.jp/ja/>

【出生地】東京都杉並区
【生年月日】1979年1月13日
【学歴】常磐大学国際学部

盆栽師。1979年、東京都生まれ。大学を卒業後、2002年より「勝田光松園」にて故塚原幸次氏に師事。2006年に独立し、盆栽師として活動を開始する。2009年、由緒ある国風盆栽展で職人として手がけた作品が国風賞を受賞。

2009～2013年、さいたま市大宮盆栽美術館の専属盆栽技師を務める。2013年、欧州文化首都2013コシツェに盆栽デモンストレーターとして、第8回世界盆栽大会(2017年開催)のさいたま誘致プレゼンテーションに盆栽師代表プレゼンターとして参加。2014年、スロヴァキアの国際盆栽フェスティバルにおいてデモンストレーションを行う。2016年の国際園芸博覧会トルコ・アンタルヤでは日本政府出展の展示に盆栽専門スタッフとして携わった。

現在、2013年に構えたアトリエ「盆栽もり」(茨城県つくば市)にて盆栽師の仕事に従事する傍ら、初心者を対象にしたワークショップを行う他、盆栽コミュニティを主導するなど普及活動にも取り組む。また米カリフォルニアでも講習会を行うなど、幅広く国内外で盆栽の活動を精力的に取り組んでいる。若手盆栽技師として、テレビ、ラジオ、新聞、雑誌等に出演。



【活動】

- 2002 – 茨城県ひたちなか市、勝田光松園にて故塚原幸次氏に師事
- 2006 – 2009 独立後、盆栽師として活動を開始
毎春アメリカ、カリフォルニア州北部において講習会を開催
- 2009 – 2013 公立盆栽美術館「さいたま市大宮盆栽美術館」にて専属盆栽技師として勤務
- 2013.4 「盆栽もり」を開園。盆栽の手入れを中心に、講習会、初心者向け講習会など開催
- 2013.5 「欧州文化首都2013コシツェ」にて盆栽デモンストレーターとして参加
- 2013.9 「世界盆栽大会」2017の開催誘致プレゼンターとして参加
- 2014 スロヴァキアの国際盆栽フェスティバルにてデモンストレーターとして参加
- 2016 日本政府出展、国際園芸博覧会トルコ・アンタルヤにて盆栽専門スタッフとして参加
- 2017 – 国際交流基金 web コラム連載

【ウェブ】 <http://www.bonsaimori.jp>